

認知症とは？

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が損傷を受けたり、働きが悪くなるために記憶力や判断力等が低下し、日常生活に支障が出ている状態をいいます。代表的なものは次の4つの病気です。

①主な認知症の種類と特徴

認知症の種類	症 状	原 因
アルツハイマー型認知症	物忘れから始まって、生活を実行する機能などがゆっくと低下します。	脳の神経細胞が少しずつ壊れ脳が縮んで小さくなるために起こります。認知症の中で最も多く全体の6割を占めます。
脳血管性認知症	物忘れが強いのに、判断力や理解力は問題ないなど、低下する機能にばらつきがあります。	脳梗塞や脳出血が原因となって起こります。
レビー小体型認知症	幻視（実際には見えないものが見える）や筋肉のこわばりにより動作が遅くなったりします。	レビー小体という特殊なたんぱく質が脳の神経細胞にたまることによって起こります。
前頭側頭型認知症	遠慮がなくなったり暴力的になるなど人格や行動の変化が見られるのが特徴です。	脳の前方（前頭葉）や横の方（側頭葉）が縮んで小さくなるのが特徴で、65歳以下（若年）での発症が多いのも特徴です。



★若年性認知症について

65歳未満で発症した場合をいいます。

働き盛りの男性に多く、経済的問題や家庭内の課題が発生します。疲れや更年期症状と違って診断が遅れることが多くあります。

「認知症かな？」と感じた時は・・・
まずはかかりつけ医に相談を！



認知症に早く気づくことが大切です。

認知症はどうせ治らないから医療機関にかかっても仕方ないという考えは間違いです。

軽いうちから準備をすることで、今後の生活の備えをすることができ、自分らしい生活が可能です。



☆早期発見による3つのメリット

1 早期治療で改善も期待できる

認知症の原因になる病気はさまざまですが、早期に発見し早期に治療を始めることで、改善が期待できるものもあります。

2 進行を遅らせることができる

症状が悪化する前に適切な治療やサポートを行うことによって、その進行のスピードを遅らせることができる場合があります。

3 事前にさまざまな準備ができる

症状が軽いうちに本人や家族が話し合い、今後の治療方針を決めたり、利用できる制度やサービスを調べたりする「認知症に向かい合うための準備」ができます。